

令和2年度 宮崎県職員採用試験【大学卒業程度（林業）】

専門論文試験課題

<課題>

本県の人口は平成8年をピークに減少し、地域社会の維持が危ぶまれ、あらゆる分野における労働力不足が深刻化しています。林業・木材産業においても担い手の確保が厳しくなっており、林業・木材産業の成長産業化と森林の適正な管理を実現するためには、これまでの取組に加えて、技術革新や新しい概念を導入し、施業の効率化や生産性の向上を図ることが重要となっています。

このような中、林野庁は「林業イノベーション現場実装推進プログラム」を令和元年12月に公表し、イノベーションによる林業の将来像や新技術の開発から普及に向けた展開方向とロードマップ等を示しています。

本県においても、林業の特性である厳しい地形条件等による低い労働生産性と高い労働災害率、植栽して伐採・収穫するまでに長期を要することなどを踏まえ、新しい技術等を活用した「林業イノベーション」を推進し、これらの実証などを通じて、林業の現場に導入していくことが必要となっています。

そこで、本県の76%を占める豊かな森林を将来にわたって循環利用し、林業・木材産業を成長発展させるために必要な「林業イノベーション」について、本県においてどのような取組を進めていくべきか、あなたの考えを述べなさい。